

令和2年度 グリーンスローモビリティの活用検討に向けた 実証調査支援事業

計画書

実証地域	千代田地区(千葉県四街道市)
提案者	政策推進課
事業名称	地域のつながりを支援する次世代モビリティの導入実験事業

【1. 実証調査の背景・目的】
 【2. 実証調査の概要】
 【3. 実証調査の詳細】
 3.1 運用エリア、3.2 運用方法、3.3 実施体制、3.4 関係機関との調整状況、3.5 事業化に向けた検討、3.6 その他
 ※「3.6 その他」については任意記載項目とする

1

【1 実証調査の背景・目的】

✓ 地域の概況について

・ 実証地域の概要(社会経済特性、地理的特性等)

四街道市は、首都圏40km圏内の千葉県北西部に位置し、首都圏の住宅都市として急速に人口が増加した。千代田地区は、四街道市の北東に位置し、四街道駅から約4km、物井駅から約2kmの距離にあり、昭和40年代、50年代に住宅開発された団地で、住民の多くが開発当時に入居したため、人口減少傾向が見られるとともに、高齢化も進み、高齢化率は57%となっている地域である。

・ 実証地域の都市特性(都市施設の立地状況)や道路状況

千代田地区には、スーパーなどの大型商業施設がなく、公共施設や病院等が少ないため、施設利用や買い物等をするためには、バスや自家用車等を使用し、近隣地区又は市街地に移動する必要がある。道路状況は、住宅団地内には6m前後の道路が多く、交通量は少ないが、バスが運行する都市計画道路は4車線道路となっており、近隣市の市街地等に抜ける道路のため交通量が多くなっている。

・ 地域の公共交通(電車、バス、タクシー)の充足状況

市全体にはバス路線が比較的充実しており、千代田地区は千代田団地線、物井池花線が運行している。しかし、千代田団地線は、高齢化の進展とともに年々利用者が減少しており、平成23年と比較すると、平日の運行本数約50本の減少となっている。物井池花線も同様に、半減している。

また、その他の公共交通として、市にはJRの駅が2か所あり、タクシー事業者も2社ある。

	平成23年	令和元年
千代田団地線	144	97
物井池花線	74	37

※平日の便数

2

✓ 地域課題と解決に向けた方向性について

• 実証地域が抱える交通課題

路線バスの利用者については、近年、少子高齢化やマイカーの普及などにより減少又は横ばい傾向にあり、人口は「四街道市人口ビジョン」においては、将来的な人口減少が見込まれている。このままでは、今後、路線バスの利用者が減少することは確実なことから、利用促進を図りながら、バス事業者の撤退、減便などを食い止め、既存の路線バスを維持するための方策が必要となっている。

団地内においては、バス停や大型商業施設等までの移動が困難な高齢者や子育て世帯などからも、公共交通の利便性向上を要望する声があり、これに対応できる環境を整備する必要が生じている。

また、地域の課題として、団地内の人口減少や高齢化が進む中、地域の空洞化が懸念されており、新たな人口の流入を図る必要が生じているほか、3密の回避や新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式を意識しつつ、地域で助け合い、地域のつながりを深めることができる取組を通じて、地域の魅力を高める必要が生じている。

• 上記課題を解決するための方向性

グリーンスローモビリティを地域内で巡回することにより、高齢者や幼児を抱える子育て中の方の移動支援などを行うほか、併せて、バス停までの誘導を図り、既存バス路線への利用を促進し、市内公共交通の維持を図る。

また、近くの商業施設等への移動支援を行い、買物・外食等の外出意欲の向上を図り、外出機会を増やし、社会参加できる環境を整えることで、地域の活性化に寄与するとともに、地域を象徴するモビリティとして、市の認知度向上を図り、千代田地区の流入人口の増加を目指す。

• 課題解決に当たり、グリーンスローモビリティの優位性について

当該地区は住宅が密集し、バス停や商業施設等までは狭隘道路が多いことから、小型で低速運行ができるグリーンスローモビリティが最も運行に適している。また、地域が助け合い、地域のつながりを深めることができる地域であり、グリーンスローモビリティを導入した場合に運転するボランティアも募りやすく、協力を得やすい地域である。そのほかにも、他の公共交通よりも金銭的な負担が少ないことや、窓がないため自然な風が心地よい、開放的な空間となり3密を回避することができることから優位にあると考える。

• 実証地域における上位関連計画におけるグリーンスローモビリティの位置づけについて

令和2年3月に策定した「第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、良好な住環境の推進に向けた取組の1つとしてグリーンスローモビリティを活用した移動支援について協議・検討することとなっている。

3

【2 実証調査の概要】

地域のつながりを支援する次世代モビリティの導入実験事業

✓ 実証の全体像

• グリーンスローモビリティの活用により目指す将来像、そのために今回実施を希望する実証の概要

バス利用者が増加しバス路線が維持され、誰もが移動に困ることない活性化した地域となることを目指す。

そのために、グリーンスローモビリティを地域内とバス停を結ぶルートで走行させ、これまでバスを利用していない方、もしくは利用できなかった方の掘りおこしを行いながら、バスの利用を促進し、バス利用者の増加を図る。

また、近隣の商業施設等も通るルートとし、高齢者等の移動支援をすることで、これまで外出を控えていた方の外出意欲の向上につなげ、介護予防を図るほか、外出しやすい地域が支え合いながら、地域のつながりを強いものとする。

• 実証のコンセプト、実施内容がどのように地域の交通課題を解決するか

地域のつながりを大切にしながら公共交通の衰退や地域の活力低下に歯止めをかけることをコンセプトとする。

そのため、実施内容の詳細は地域内の5自治会を中心に話し合いにより決定することとするが、走行ルートについては、路線バスの維持や高齢者等の移動を支援するため、地域内とバス停や商業施設等を結ぶルートを設定することとする。また、グリーンスローモビリティの走行位置が分かるようバスロケーションシステムを活用し、より利便性の向上を図り、移動しやすくする。

✓ 実証により実現を目指す地域交通の将来像

• 実証により実現を目指す地域交通の将来像について

地域交通においては、地域と協働で取り組むグリーンスローモビリティを運行することにより、バス停までの移動手段を確保し、公共交通であるバスの利用促進を目指す。また、特徴的な外見をもつeCOM8のブランディング力と移動の利便性向上により、さらに新たな住民の流入増加を目指し、人口減少を食い止め、地域が活性化される。このようなことにより、地域交通を中心とした元気な地域社会を実現する。

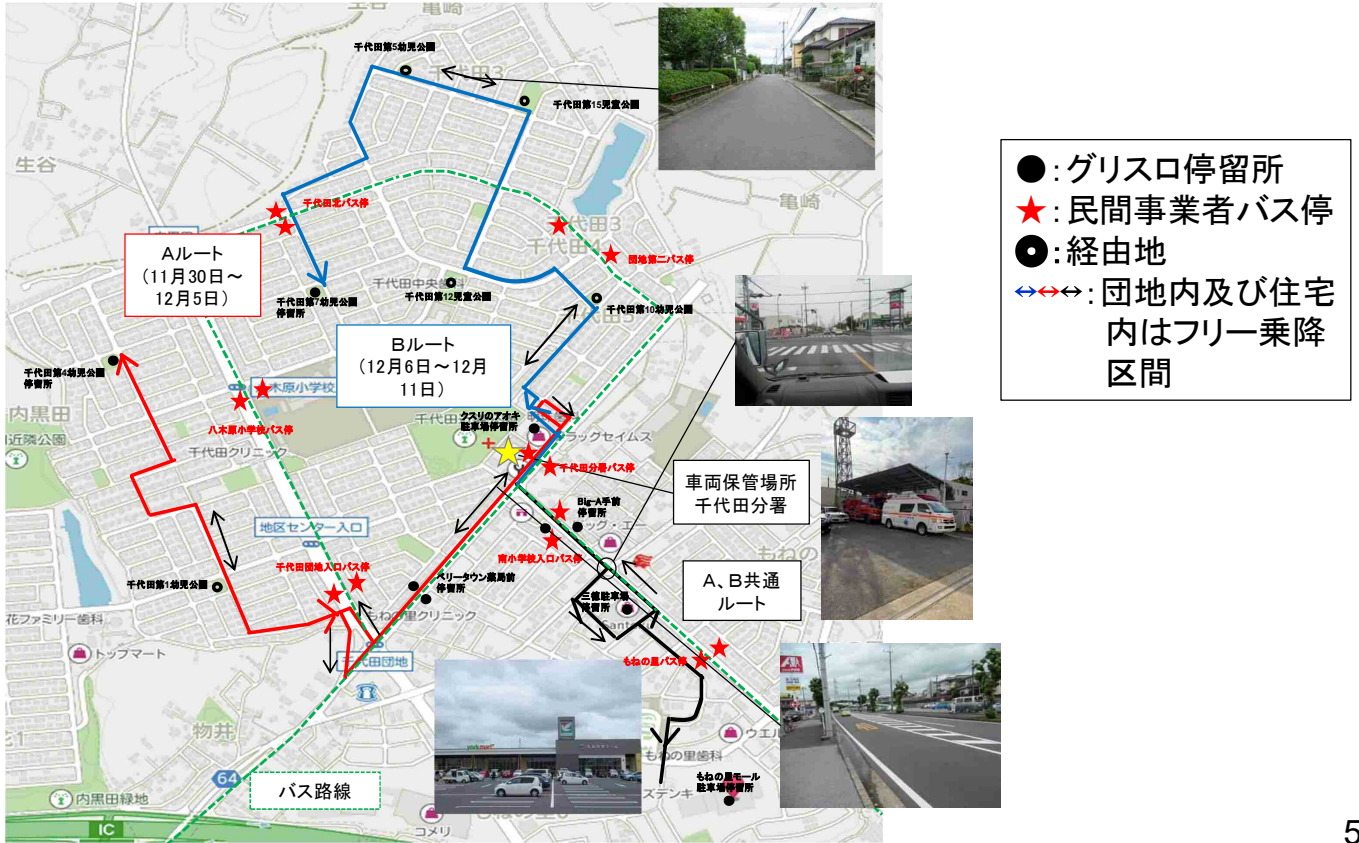
実証実験の結果により、ボランティアや交通事業者による運行の可能性を探り、ボランティアであれば継続的な確保、交通事業者であれば地域の意見を取り入れた運行ができるか探っていく。

新型コロナウイルス感染予防に対応した車両を用い、地域の新しい顔として、新しい生活新様式の1つとして利用してもらう。

4

【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用エリア】



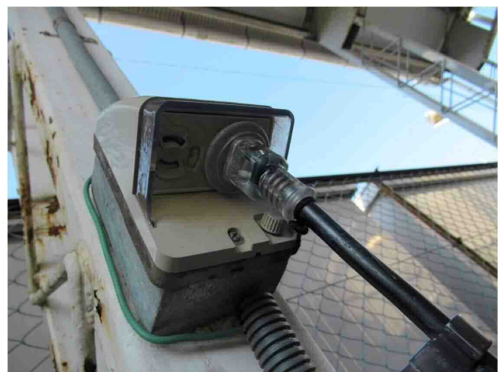
【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用エリア】

車庫現場写真



電源現場写真



【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

○運行方法

① 実証実験名称

「地域のつながりを支援する次世代モビリティの導入実験事業」

② 運行主体

四街道市が運行主体となり、千代田地区(千代田一丁目自治会、千代田二丁目自治会、千代田三丁目自治会、千代田四丁目自治会、千代田五丁目自治会)と連携して運行する。

③ 実証実験期間

令和2年11月30日(月)から令和2年12月11日(金)まで

《運転者説明会》 11月19、20日(木、金)午前、午後、夕方の3回開催(市による走行ルート注意説明)

グリーンスローモビリティ実証実験運転者説明会 次第	
	日時：令和2年10月19日(木)午前9時30分～
	場所：千代田一丁目集会所
1.	開 会
2.	説 明 ・走行ルートの注意箇所等について
3.	質 疑 応 答
4.	閉 会

《運転者安全講習会》 11月28日(土)午前、午後の2回ずつ、4回開催

7

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

《周知イベント》 11月29日(日)商業施設等

セレモニー

周知イベント案

四街道市グリーンスローモビリティ実証実験開始式 次第	
	日 時：令和2年11月29日(日) 午前10時00分～10時30分
	場 所：もねの里モール 駐車場
1.	開 式
2.	市長あいさつ
3.	来賓あいさつ
4.	来賓・協力者紹介
5.	テープカット
6.	ゆうなみさんによる応援ライブ
7.	閉 式

9:30	千代田分署、千代田集会所出発
9:45	もねの里モール到着
10:00～ 10:30	式典
10:30～	チラシ配布
約30分(チラシ配布及び試乗会、歌唱)	
11:00	もねの里モール終了、三徳へ
11:15	三徳
約30分(チラシ配り)	
11:45	三徳終了
12:00	千代田集会所、千代田分署到着
12:30 終了	

8

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

④ 検証内容

- ・バス路線の利用促進が図られたか(アンケート調査)
- ・移動支援による外出意欲の向上につながったか(アンケート調査)
- ・安全対策が有効であったか(運行日誌、運転者の意見、苦情等の件数等)
- ・地域のコミュニティ増進、活性化に有効であったか(意見、アンケート調査)

⑤ 運賃

実証実験中の運賃は無料とする。

⑥ 利用対象者

誰でも乗車可能

⑦ 実証実験期間の運行

実証実験では、千代田一丁目、二丁目の運行をAルートとし、千代田三丁目から5丁目の運行をBルートとして、運行するルートを設定するものとする。

Aルートは、令和2年11月30日(月)から12月5日(土)まで運行し、Bルートは、令和2年12月6日(日)から12月11日(金)まで運行する。

⑧ 乗降場所

乗降場所は、団地内はフリー乗降区間とし、「クスリのアオキ、ビッグ・エー手前、三徳四街道店、もねの里モール、ベリータウン薬局前」を乗降場所とする。

乗降場所には、看板等を明示するとともに、時刻表(A4)を記載する。

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

乗降場所

四街道市 停留所

グリーンスローモビリティ実証実験中
11月30日(月)～12月11日(金)

Aルート【千代田1丁目、2丁目】11/30(月)～12/5(土)						Bルート【千代田3丁目～5丁目】12/6(日)～12/11(金)					
乗降地(停留所は番号)	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	乗降地(停留所は番号)	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
①第4別荘公団	9:00	10:00	12:40	13:40	14:40	①第7別荘公団	9:00	10:00	12:40	13:40	14:40
②第1別荘公団	9:04	10:04	12:44	13:44	14:44	②第5別荘公団	9:04	10:04	12:44	13:44	14:44
③ベリータウン薬局前	9:08	10:08	12:48	13:48	14:48	③12児童公団	9:08	10:08	12:48	13:48	14:48
④クスリのアオキ駐車場	9:40	10:40	12:50	13:50	14:50	④クスリのアオキ駐車場	9:40	10:40	12:50	13:50	14:50
⑤6～4手前	9:45	10:45	12:55	13:55	14:55	⑤6～4手前	9:45	10:45	12:55	13:55	14:55
⑥三徳駐車場	9:50	10:50	13:00	14:00	15:00	⑥三徳駐車場	9:50	10:50	13:00	14:00	15:00
⑦もねの里モール駐車場	10:00	11:00	13:10	14:10	15:07	⑦もねの里モール駐車場	10:00	11:00	13:10	14:10	15:07
⑧三徳駐車場	10:00	11:00	13:10	14:10	15:07	⑧三徳駐車場	10:00	11:00	13:10	14:10	15:07
⑨6～4手前	10:10	11:10	13:20	14:20	15:14	⑨6～4手前	10:10	11:10	13:20	14:20	15:14
⑩クスリのアオキ駐車場	10:15	11:15	13:25	14:25	15:19	⑩クスリのアオキ駐車場	10:15	11:15	13:25	14:25	15:19
⑪ベリータウン薬局前	10:18	11:18	13:28	14:28	15:22	⑪12児童公団	10:18	11:18	13:28	14:28	15:22
⑫第1別荘公団	10:22	11:22	13:32	14:32	15:26	⑫第1別荘公団	10:22	11:22	13:32	14:32	15:26
⑬第4別荘公団	10:26	11:26	13:36	14:36	15:30	⑬第7別荘公団	10:26	11:26	13:36	14:36	15:30

乗降が団地内のどこを希望しているか、乗降希望の乗降所を指定することができます。乗降料は無料です。

乗降料は無料です。

乗降料は無料です。

乗降料は無料です。

運行主体：西条市公共交通株式会社 問い合わせ：043-421-2111 (内線)

協賛会社：千代田一丁目協会、千代田二丁目協会、千代田三丁目協会、千代田4丁目協会、千代田5丁目協会

本実証実験の開催、運行業務の推進を支援する事業者です。

停留所にパウチしたもの(A4)を、掲示板や商業施設に明示する予定です。

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

⑨ 運行ダイヤ

運行は、1日5便、運行時間は9時30分から16時までとし、運行ダイヤを設定する。
 なお、団地内は、フリー乗降となるため、公園などのポイント通過時刻を目安として記載し、乗降場所の時間を記載する。
 また、通過目安は、運行状況により異なる場合があることを明示する。
 バッテリー交換は、昼の休憩時間に市職員が交換するものとする。

Aルート(千代田1丁目、2丁目)11/30(月)～12/5(土)					
経由地(停留所は番号)	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
①第4幼児公園発	9:30	10:30	12:40	13:40	14:40
第1幼児公園	9:34	10:34	12:44	13:44	14:44
②ペリータウン薬局前	9:38	10:38	12:48	13:48	14:48
③クスリのアオキ駐車場	9:43	10:43	12:53	13:53	14:53
④Big-A手前	9:45	10:45	12:55	13:55	14:55
⑤三徳駐車場	9:50	10:50	13:00	14:00	15:00
⑥もねの里モール駐車場	10:03	11:03	13:13	14:13	15:37
⑤三徳駐車場	10:08	11:08	13:18	14:18	15:42
④Big-A手前	10:10	11:10	13:20	14:20	15:44
③クスリのアオキ駐車場	10:15	11:15	13:25	14:25	15:49
②ペリータウン薬局前	10:18	11:18	13:28	14:28	15:52
第1幼児公園	10:22	11:22	13:32	14:32	15:56
①第4幼児公園着	10:26	11:26	13:36	14:36	16:00

Bルート(千代田3丁目～5丁目)12/6(日)～12/11(金)					
経由地(停留所は番号)	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
①第7幼児公園発	9:30	10:30	12:40	13:40	14:40
第5幼児公園	9:34	10:34	12:44	13:44	14:44
第12児童公園	9:38	10:38	12:48	13:48	14:48
②クスリのアオキ駐車場	9:43	10:43	12:53	13:53	14:53
③Big-A手前	9:45	10:45	12:55	13:55	14:55
④三徳駐車場	9:50	10:50	13:00	14:00	15:00
⑤もねの里モール駐車場	10:03	11:03	13:13	14:13	15:37
④三徳駐車場	10:08	11:08	13:18	14:18	15:42
③Big-A手前	10:10	11:10	13:20	14:20	15:44
②クスリのアオキ駐車場	10:15	11:15	13:25	14:25	15:49
第12児童公園	10:18	11:18	13:28	14:28	15:52
第5幼児公園	10:22	11:22	13:32	14:32	15:56
①第7幼児公園着	10:26	11:26	13:36	14:36	16:00

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

⑩ 利用者に向けた協力・周知

乗車時の留意事項

- ・乗車場所の運行ダイヤを参考に余裕をもって到着していること。
- ・バスの位置情報サービスを導入することから、携帯アプリケーションを活用すること。
 四街道市の市内循環バス「ヨッピー」にバスの位置がわかる位置情報システムを導入しており、大変好評である。その位置情報システムを同様に導入し、現在走っている場所をスマートフォンで確認することができ、待機時間も有効に使用してもらう。また、その日の運行状況も確認できるようになる。(運転者説明会での紹介やチラシ、停留所の表記にQRコードを表示している。)



- ・マスクの着用及び手指消毒を実施すること。
- ###### 降車時の留意事項
- ・フリー乗降区間で降りる際は、余裕をもって補助者に声をかけること。
 - ・完全に停止するまでは、立ち上がらないこと。

[3 実証調査の詳細]

[3.2 運用方法]

アンケートへの協力

- ・乗車時にアンケート用紙を配布するため、アンケート調査に協力をいただくこと。
- ・アンケート用紙の回収は、補助員が行うこと。

グリーンスローモビリティ利用者アンケート調査

本日は、グリーンスローモビリティをご活用頂きありがとうございました。
以下、アンケートへのご協力をお願いいたします。

問1 あなたご自身のことについて、記載ください。

- (1) 性別/年齢 ① 男性 / () 歳 ② 女性 / () 歳
(2) お住まい ① 四街道市 () 町 ② 四街道市以外
(3) 自動車普通運転免許をお持ちですか？
① 持っている ② 持っていない ③ 持っていたが返納した
(4) 現在、ご自宅に自動車をお持ちですか？
① 自由に使える車がある ② 車はあるが自由には使えない
③ 自動車はあるが使わない ④ 自宅に車がない

問2 グリーンスローモビリティの利用回数と利用した理由

- (1) 利用回数
① はじめて ② 2回目 ③ 3回目以上 () 回目
(2) 利用した理由 (複数回答可)
① 目的地に行くのに便利だから ② 低速で安全だから
③ 今までに無い乗り物で興味があるから ④ 家族・友人等に誘われたから
⑤ 快適だから ⑥ 路線バスへの乗換
⑦ その他 ()

問3 今回の外出について、該当する番号に○をつけてください。

- (1) 本日の外出目的は何ですか？ (複数回答可)
① 病院 (通院・見舞等) ② 日用品等の買い物 ③ 趣味・習いごと
④ 家族・親類の家 ⑤ 通勤・通学 ⑥ 仕事
⑦ 暮らしの用事 (役場、銀行、サロン等)
⑧ 試しに乗車した
⑨ その他 ()
(2) 普段の交通手段はなんですか？ (主な交通手段を1つだけ○)
① 徒歩 ② 自動車 (同乗) ③ 自動車 (自分で運転)
④ 路線バス・電車 ⑤ タクシー ⑥ 自転車
⑦ シニアカー ⑧ その他 ()

(3) 外出意欲の向上に有効だと思いますか。

- ① 思う ② 思わない

問4 地域コミュニティの増進に有効だと思いますか。

- ① 思う ② 思わない

問5 グリーンスローモビリティの満足度はどうですか？

- ① 満足 ② どちらかといえば満足
③ どちらでもない ④ どちらかといえば不満
⑤ 不満
選択した理由 ()

問6 グリーンスローモビリティは地域に必要な乗り物だと思いますか。

- ① 必要
② 実証実験の運行内容を見直せば必要
(見直す内容：)
③ 将来的には必要 ④ 必要ない
⑤ その他 ()

問7 グリーンスローモビリティの実験は何で知りましたか。(複数回答可)

- ① HP ② チラシ ③ 広報誌
④ テレビ・ラジオ ⑤ 知人からの情報提供
⑥ その他 ()

問8 来年度以降、本格運行を行う場合の条件について、ご意見をお聞かせください。

- (1) 有料でも利用しますか
① 利用する ② 利用しない ③ わからない
(2) 有料でも利用する場合、金額を下記と仮定したとき、どのくらい利用しますか。
<100円/回>
① 毎日 ② 週2~3回 ③ 週1回
④ 月2~3回 ⑤ 月1回 ⑥ 利用しない
<200円/回>
① 毎日 ② 週2~3回 ③ 週1回
④ 月2~3回 ⑤ 月1回 ⑥ 利用しない
<300円以上>
① 毎日 ② 週2~3回 ③ 週1回
④ 月2~3回 ⑤ 月1回 ⑥ 利用しない

問9 グリーンスローモビリティについて、ご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました

[3 実証調査の詳細]

[3.2 運用方法]

⑪周知方法

- ・市が利用促進チラシを作成し、市政だより(12月1日号)・HP掲載(11月下旬)、自治会回覧(11月下旬)・掲示板(第1幼児公園、第5幼児公園、第12児童公園、第10幼児公園)(11月下旬)、商業施設(11月下旬)、横断幕(11月中旬)で広く周知する。なお、各自治会も周知啓発に協力するものとする。



地域団体との連携

- ・実証実験の実施にあたり、「支えあいチーム千代田」、「民生委員」、「シニアクラブ」などとの連携を図り、地域住民に広く周知できるよう努める。

庁内での連携

- 自治会や保育園、幼稚園、小学校、中学校、民生委員、シニアクラブ、高齢者、道路の担当課と連携を図り、周知や安全対策を行っていくものとする。

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

○補助者の留意事項

- ・ 1周ごとに運転者と補助者を交代する。
- ・ 1周ごとに10分間程度の休憩を行う。
- ・ 昼休みは、1時間程度の休憩を行う。
- ・ 前日の飲酒禁止、運転免許証を携帯する。
- ・ 後方車の確認、交差点、道路を横断する際等の安全を確認する。
- ・ 乗降中の利用者の安全を確保する。
- ・ 乗降していることが分かるようにビブスに装着する。



- ・ アンケート用紙の配布・回収をする。
- ・ 手指消毒の呼びかけを行う。
- ・ 乗降時、出発時の安全確認(側面に人がいないか、後方車の確認、着席・急ブレーキの喚起)、乗降中(立ち上がらない)の安全確保をする。

④ 乗降時における安全確保

- ・ フリー乗降区間で停車する場合、後方車がいる場合は、交差点等は避け、見通しの良い安全な場所で道を譲ること。
- ・ フリー乗降区間で停車する場合は、他の車の妨げにならないよう留意する。
- ・ 後方車に道を譲る際は、必ずハザードランプを点け停止すること。
- ・ 乗降時のドアの開閉等は、前方側から行うこととし、安全を十分確認すること。
- ・ 乗降時は、降車の方を優先して行うものとし、利用者の安全を確保しながら実施するものとする。

⑤ 運行時における安全確保

- ・ 低速移動であること認識し、余裕をもって運行すること。
- ・ 団地内で乗車する場合は、利用者には見通しの良い場所で待ってもらうこと。また、団地内で通行量が多い場所、信号、交差点付近は避けるよう周知すること。
- ・ 団地内の交差点を通行する場合は、必ず一時停止し、運転者及び補助員で声出し、指さし確認をし、安全を十分に確認したうえで、通行すること。
- ・ 道を間違えた場合などは、バックせず迂回して、通常のルートに戻ること。
- ・ 運行中、後方車がいる場合には、交差点等は避け、見通しの良い安全な場所で道を譲ること。

19

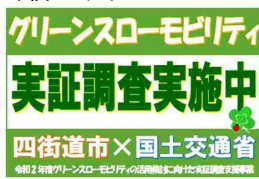
【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

- ・ 千代田一丁目、二丁目の運行ルートにおいて、「麦音前」から幹線道路に左折する際は、原則として「千代田団地交差点」の信号が赤になっていることを確認した上で、左折すること。また、運転者及び補助員は、後方(右側)からの車両がないことを声出し、指さし確認し、左折すること。
- ・ 「もねの里クリニック」前から「クスリのアオキ」前までの道路を運行する際に、後方車がいる場合は、ハザードランプを点灯し、左に寄り道を譲ること。また、再度、運行を開始する際は、後方車がないことを確認した上で、安全走行すること。
- ・ クスリのアオキを出た後、後方に車がいる場合は、信号手前(駐車禁止)の標識付近で停車し、後方車がないことを確認してから、左折すること。
- ・ 「千代田交番」から「三徳」までの幹線道路は、通行量が多いため、後方車のスピードに注意して運行すること。このため、乗降者の有無に関わらず、「ビッグ・エー手前」(南小学校入口バス停先)で一旦停止し、後方車がないことを確認した上で運行を開始すること。原則赤信号になって右折帯に進入すること。
- ・ 幹線道路の信号機のある交差点を右折する際は、運転者と補助員が協力して、必ず直進する車がないことを声出し、指さし確認した上で右折すること。
- ・ 「もねの里モール」前の道路を横断する際は、通行する車のスピードに注意し、必ず運転者と補助者が走行してくる車がないことを声だし、指さし確認した上で横断すること。
- ・ 目的地における駐車場は、決められた場所に停車し、歩行者に細心の注意を払いながら、他の通行を妨げないこと。
- ・ 「千代田団地交差点」は、右折するため、乗降者の有無に関わらず、「ペリータウン薬局前」付近で一旦停止し、後方車がないことを確認した上で運行を開始すること。原則赤信号になって右折帯に進入すること。

⑥ 運行路における安全確保

- ・ 運行する幹線道路は、「低速車両実証実験中 11月30日～12月11日 走行注意! 四街道市役所政策推進課」の看板など付けて、通行車両に注意を促すなど、幹線道路における安全対策を実施する。車両には、横に「グリーンスローモビリティ実証実験中」の横断幕や車両前にA4、後にA3のパウチしたものを掲示お知らせする。



- ・ 11月29日に商業施設等で周知イベントを開催して、低速車両の走行があることの注意を促すとともに、多くの方に利用いただけるよう周知する。
- ・ 運行開始後数日間は、公用車で低速車両の後追うこととする。

20

【3 実証調査の詳細】
【3.2 運用方法】

看板設置場所



21

【3 実証調査の詳細】
【3.2 運用方法】



22

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】



23

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

看板



- ・200cm × 30cm
- ・設置の際、不安定な場合は、土嚢で四方を固定する。

24

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

⑦ 運転日誌

その日の運行において、注意点、気づいた点、ヒヤリハット等の事例報告等を記載し、運転者及び補助者全員が共有しながら、安全な運行に心がける。

四街道市実証調査運行日誌				11月										●日 (●)	天気:	最低気温:	最高気温:
No	運行予定		運行距離 走行距離	運転者名 補助者名	乗降駅数 (上段:乗車/下段:降車)										特記事項 (乗取故障、遅延状況、乗客からの要望、ヒヤリハットなど)		
	発車時刻	到着時刻			区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
1区 往路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
1区 還路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
2区 往路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
2区 還路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
3区 往路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
3区 還路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
4区 往路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
4区 還路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
5区 往路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			
5区 還路			0		区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8	区間9	区間10			

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

⑧ 新型コロナウイルス対応

運転者、補助者及び利用者において、体調不良時は乗車禁止とし、マスクを着用するものとする。また、1周ごとに消毒を実施し、感染予防を行うものとする。

利用者には、乗車の際、手指消毒を実施する。

⑨ 事故発生時の対応

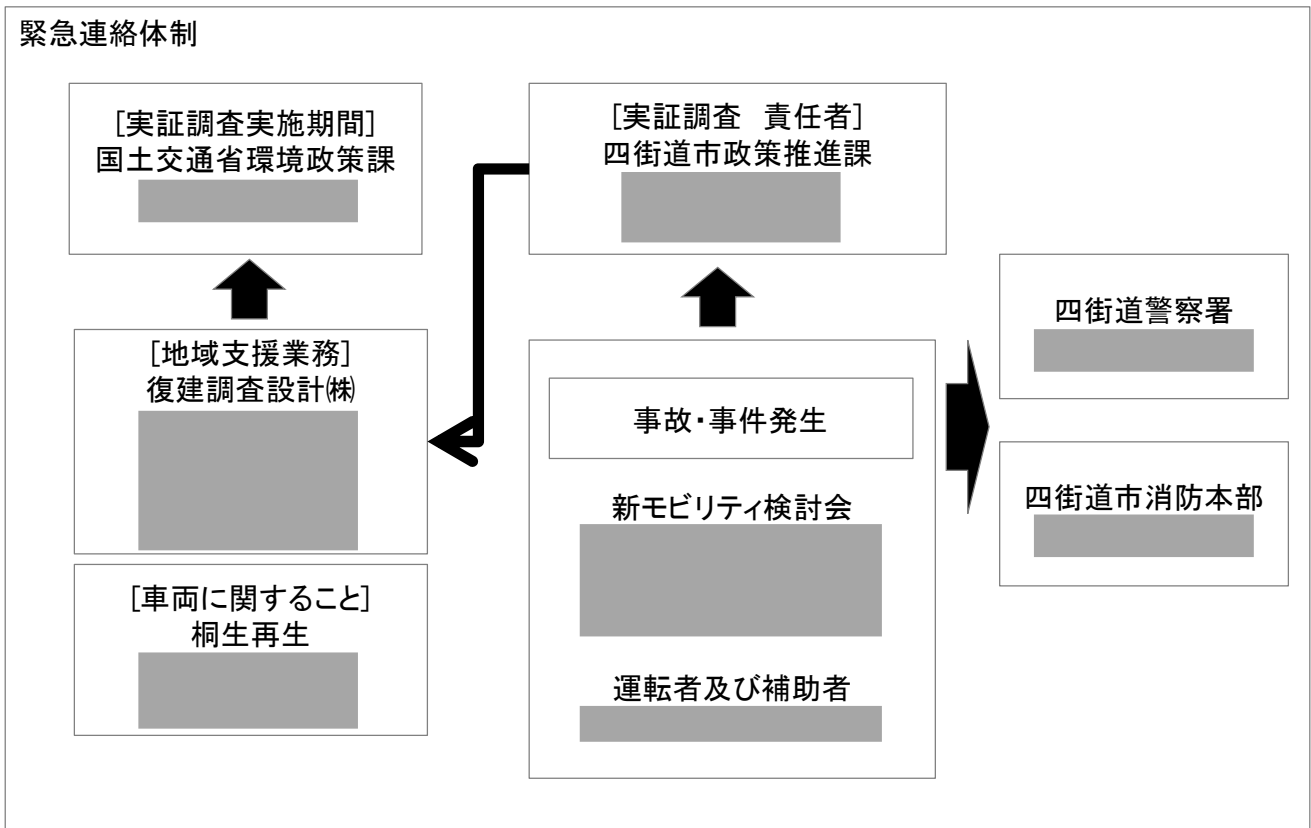
軽微な車両の毀損事故、重大な交通事故に関わらず、事故が発生した場合は、当日の朝に事務連絡用に渡している市の携帯電話から市役所に連絡を行うとともに、けが人等がいる場合は救急車及び警察に連絡すること。

○事故発生時の対応

その場で市に連絡し、相手方の連絡先を控える
乗客が居る場合は、速やかに怪我等の状況を聞き取る

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】



27

【3 実証調査の詳細】

【3.3 実施体制】

実施体制

団体名	役割
四街道市	実証調査責任者、関係各所との調整、車庫の確保
新モビリティ実証実験検討会	運転手人材の輩出、地域住民に関する情報提供、広報支援

地方公共団体内での役割分担

所属名・担当者名	役割
政策推進課 []	実証調査責任者
政策推進課 []	警察・運輸局・交通事業者との調整
社会福祉課 []	福祉部門に関する事業との連携調整
土木課 []	道路管理者として協議

28

【3 実証調査の詳細】

【3.4 関係機関との調整状況】

(記載方法)

- 実証調査に当たり調整が必要となる関係機関・団体等について記載すること(必要に応じて行を追加すること)。
- 該当期間がない場合、今回は関係しない場合は、その旨を所定の欄に記載すること。

		団体名		実証調査の調整状況		事業化に対する協力意向		備考
公共交通機関等	電車		該当機関なし	①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
	バス	千葉内陸バス		①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
	タクシー	千葉県タクシー協会		①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
行政	道路管理者	四街道市		①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
	地方運輸局・支局	千葉運輸支局	今回は関係しない	①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
	警察	四街道警察署		①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
その他	商工会		今回は関係しない	①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり	②実証結果で判断	
	観光協会		今回は関係しない	①同意済 ③今後実施	②相談中	①同意済 ②相談中 ③今後実施	②実証結果で判断 ④未確認	
	商業施設等	もねの里モール三徳		①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
	福祉施設等	四街道市社会福祉協議会	今回は関係しない	①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	
	地域住民	新モビリティ実証実験検討会		①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	車庫の確保、運転手人材の輩出
	その他	KCC(バスロケ事業者)		①同意済 ③今後実施	②相談中	①あり ③なし	②実証結果で判断 ④未確認	29

【実証調査の調整状況について】

- ①同意済：企画提案の内容について照会し了承済
- ②相談中：企画提案の内容について照会中で回答待ち
- ③今後実施：企画提案の内容について未照会

【3 実証調査の詳細】

【3.4 関係機関との調整状況】

○検討会の設置

①会議

実証実験内容を協議するため、市が事務局となり「新モビリティ実証実験検討会」を設置し、運行方法や安全対策などを協議するものとする。

②構成員

構成員は、千代田一丁目～5丁目までの各自治会が推薦する代表者2名と、千代田中学校地区連絡協議会会長1名の11名で構成し、四街道市政策推進

課が事務局として協議を進めるものとする。

ただし、事務局が必要と認めた場合は、関係者の出席を求めることができる。

令和2年度 グリーンスローモビリティの活用検討に向けた 実証調査支援事業 実行計画書

実証地域	みなとオアシス門司港エリア(門司港レトロ・西海岸地区)
提案者	北九州市港湾空港局総務部 クルーズ・交流課
事業名称	みなとオアシス門司港における新しい生活様式に適應した 「グリーンスローツーリズム」実証事業

【1. 実証調査の背景・目的】

【2. 実証調査の概要】

【3. 実証調査の詳細】

3.1 運用エリア、3.2 運用方法、3.3 実施体制、3.4 関係機関との調整状況、3.5 事業化に向けた検討、3.6 その他

※「3.6 その他」については任意記載項目とする

1

【1 実証調査の背景・目的】

福岡県 北九州市

1) 実証地域の概要: みなとオアシス門司港エリアの概要

北九州市門司区は、本州と九州をつなぐ玄関口として、九州における陸・海の交通の要衝として「まち」が形成されてきた。現在は、門司港レトロ地区を中心に、明治・大正時代から昭和初期の歴史的建造物など、多くの魅力的な歴史的資源が保存活用され、関門海峡の風景も含めて、北九州市を代表する広域観光拠点として、年間約200万人の観光客が訪れている。また、昨年開港130周年を迎えた北九州港(門司港)は、「みなとオアシス門司港」として国土交通省に登録され、域内16の登録施設を中心に「みなと」を核としたまちづくりの推進に取り組んでいる。地理的特徴から、観光スポットが海岸沿いに点在し広域に渡るが、エリア内の移動手段は徒歩や人力車・自転車に限られるため来訪施設も数カ所に留まり、結果として観光客の滞在時間が短いことが課題となっており、域内を楽しくゆっくり回遊できる「多様な移動手段」の導入による周遊性の向上が求められている。加えて、本市を含む福岡県は新型コロナウイルス感染拡大時に、緊急特定地域に指定され、施設や店舗の休業などを余儀なくされており、多くの観光事業者が深刻な打撃を受けている状況である。令和2年6月19日以降の段階的な制限緩和に伴い、徐々に人の往来も増加すると予想される中、新しい生活様式に対応したマイクロツーリズムの推進による観光地としての付加価値を高めることが求められている。

2) 地域の道路状況や公共交通等について

広域道路網として、国道3号線及び199号線が南北方向に走り、九州(北九州)や山口(本州)への通過交通により慢性的な交通渋滞が発生していることに加え、イベント開催時には、エリア内への駐車場待ちの渋滞が発生している。JR門司港駅を拠点とした鉄道・路線バスやタクシーなど地域公共交通には恵まれてはいるが、エリア内を周遊するモビリティが存在せず、観光コンテンツとしての「人力車」や「トロッコ列車」は限定的に運行している。それらを補完する形でH24年よりレンタサイクル事業を実施しているが、レンタルステーションが駅から遠いこと、誰もが(高齢者、障害者等)利用できる交通手段ではないことが課題である。

● バス…地域にはJR門司港駅を起点に10路線が乗り入れているが、みなとオアシス門司港エリアを回遊する路線はない。

● タクシー…地域のタクシー会社は2社、駅前への乗り入れ会社が他に3社、合計5社がサービス提供をおこなっているが、バスと同様に地域内周遊をターゲットにしたサービス提供は行っていない。

● レンタサイクル事業…H24年よりNPO法人I-DOが実施。R2年7月からみなとオアシス門司港の事業の一環として、既存のステーションに加え、門司港駅前での貸出や参加者へのスタンプラリーの実施(土日祝日限定)を行い、エリア内の周遊性向上を図る。

● その他…観光地という土地柄、有料で人力車やトロッコ列車(夏・秋限定)の運行も有



出典: 西鉄バス路線図

2

【1 実証調査の背景・目的】

・地域が抱える交通課題

本実証地域は、県内有数の観光地で、JR門司港駅を拠点とした鉄道・路線バスやタクシーなど地域公共交通には恵まれてはいるが、エリア内を周遊するモビリティが存在しない。その結果、来街者はマイカー利用が多く、休日には駐車場待ちの渋滞が発生している。また、地区内に観光施設や店舗が点在していることから、各施設同士の周遊性が低く、結果、来街者の滞在時間が短いことが課題である。

エリア内の既存の移動手段として、観光コンテンツとしての「人力車」や「トロッコ列車」は限定的に運行している。H24年度からはレンタサイクル事業を実施しているが、ステーションが駅から遠いこと、誰もが(高齢者、障害者等)利用できる交通手段ではないこと、新型コロナウイルス感染拡大によるインバウンドの減少等の理由で、本年度の利用者は少ない。(令和2年度からは駅前でのレンタサイクル事業を展開する。)このようにエリア内ではいくつかの移動手段が既に存在するが、区間や時期・対象が限定的であり、今後、高齢者や子ども・障害者等を含む誰もが安心して利用できる新たなモビリティの導入と、新しい生活様式の中で、これらの多様なモビリティと観光施設・地域店舗との連携が行える効率的且つ包括的な仕組みづくりが求められている。

・課題を解決するための方向性、優位性

本実証事業は、既存の公共交通及び域内移動手段に加えて、みなとオアシス門司港を周遊するグリーンスローモビリティを補完的に導入し、既存の地域公共交通や観光施設・店舗などに接続することで、地域が抱える交通課題の解決へと導くものである。(事業コンセプトについては4頁)

・実証地域における上位関連計画

【門司港レトロ観光まちづくりプラン】【北九州おもてなしゆっくり街道】

北九州市では、昭和63年から門司港レトロ地区の各種の整備事業を進め、その結果、年間約200万人訪れるなど、本市を代表する観光地へと成長した。今後、門司港レトロを本市のビジターズインダストリー(賑わいを創出する産業)の牽引役として、一層魅力ある観光地に飛躍させるためには、集客・受入体制をさらに充実させ、新たな観光拠点の整備等に取り組み、滞在型の観光地づくりを進めていくことが不可欠であることから、将来展望を見据えた「門司港レトロ観光まちづくりプラン」(平成20年)の策定に取り組んでおり、その取り組みの一つとして域内巡回バスや水上バスの運行が検討されてきた。

策定から10年余りが経ち時代背景も変化中、新たな観光まちづくりプランが必要とされており、北九州市の観光振興プランに付随する形で、その改定版の作成を検討している。本計画は、R3年度に策定予定であり、その見直しに反映させるため、今回の実証実験において、グリーンスローモビリティの導入による新たなツーリズムの実現可能性を検証すると共に、課題解決の知見・ノウハウ等を他地域とも共有を図るための先進的なモデル事業としての役割を期待している。

一方、福岡県交通ビジョンでは、みなとオアシス門司港の歴史・文化や美しい国土の景観形成、地域活性化や観光振興を有機的につなぐことを目的に「北九州おもてなしゆっくり街道」として景観計画を策定していることからグリーンスローモビリティの優位性は高い。



【2 実証調査の概要】

みなとオアシス門司港における新しい生活様式に適應した「グリーンスローツーリズム」実証事業

実証の全体像

●本地域は、門司港レトロ地区として、年間約200万人が訪れる県内有数の観光地であり、2019年には地域内の16施設が「みなとオアシス門司港」にも登録された。一方で、施設が広域に点在することから、来街者の周遊性は低く、滞在時間が短い。また、公共交通機関の空白エリアに該当し、来街者の多くはマイカー利用で、休日には駐車場待ちの渋滞が発生している。これらの問題を解決すべく既存交通利用の推進やレンタサイクル事業を開始したが、運行エリアや時期が限定的であると同時に、高齢者や障害者など全ての人が利用できるものではない。そこで、グリーンスローモビリティ導入やIoTを活用し、エリア内の多様なモビリティを効率的且つ包括的に運行することにより、新しい生活様式に適應したグリーンスローツーリズムの実現の可能性について検証する。

●実証のコンセプト

- 1 周遊性の向上による観光客の滞在時間の延長・満足度向上
- 2 誰でも利用しやすく安全・安心なゆっくりとした交通体系の構築
- 3 新しい生活様式においても対応可能なマイクロツーリズムの推進

●実施内容

- ① グリーンスローモビリティの導入による域内周遊運行
- ② IoTデバイス活用による効率的且つ包括的な運行の実現
- ③ 車両の運行状況(乗車人数等混雑具合)の情報提供による新しい生活様式への対応

みなとオアシス門司港における新しい生活様式に適應した「グリーンスローツーリズム」実証事業



地域交通の将来像

●みなとオアシス門司港エリア内の周遊性向上を目的とした、グリーンスローモビリティを活用した新たなツーリズムの構築

【STEP1】

官民連携による新しい生活様式に対応したマイクロツーリズムの構築 (IoTデバイスやアプリ等を活用し施設・店舗との連携したコロナ対応)

【STEP2】

エリア内の多様なモビリティと連携したオンデマンドシステムの構築 (将来的には自動運転なども見据えたAIシステムの導入等も検討)

【STEP3】

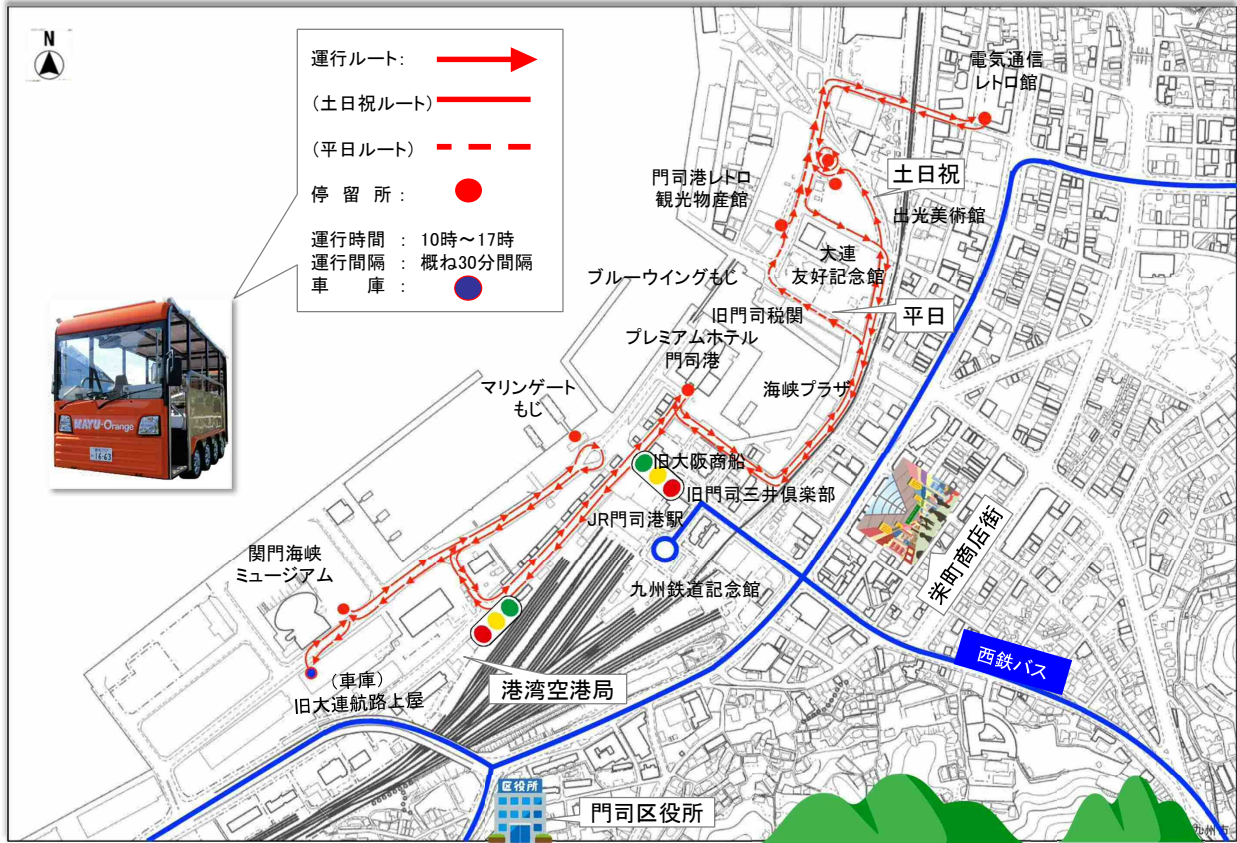
市内全域の交通機関等と連携した広範囲のオンデマンドシステムの構築(港湾・空港との交通連携による交流促進、観光振興を推進)



[3 実証調査の詳細]

[3.1 運用エリア]運行日:令和2年11月10日～令和2年11月23日迄の14日間

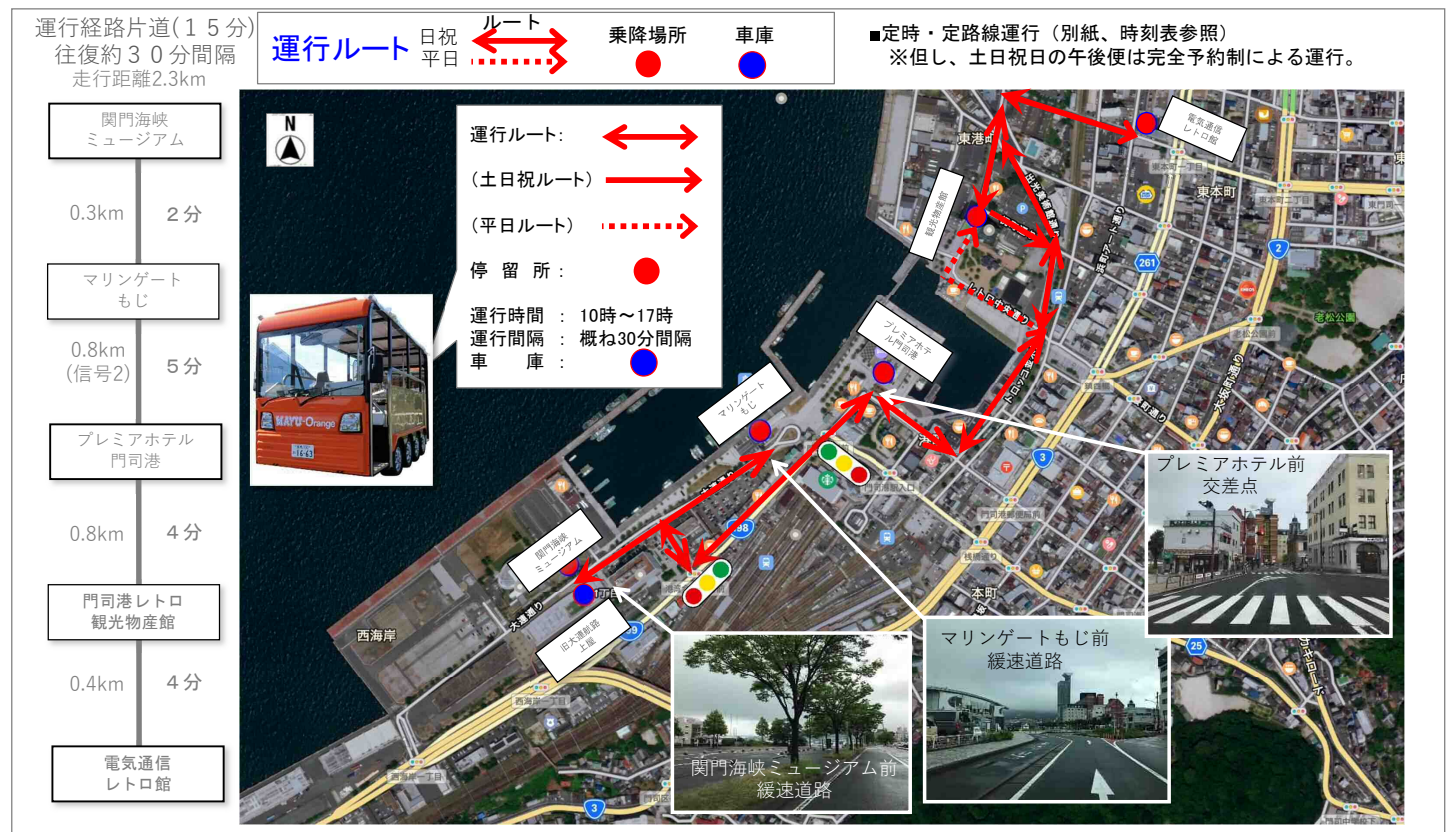
福岡県 北九州市



5

[3 実証調査の詳細]

[3.1 運用ルート]運行日:令和2年11月10日～令和2年11月23日迄の14日間



6

【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用ルート】

■ グリーンスローモビリティ停留所及び車両保管場所



① 関門海峡
ミュージアム



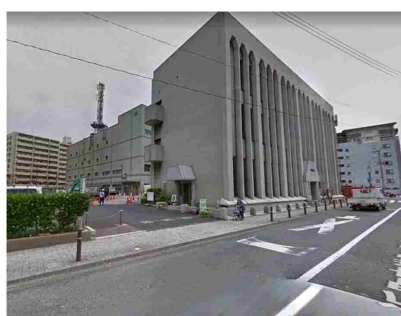
② マリンゲート
もじ



③ プレミアホテル
門司港



④ 門司港レトロ
観光物産館



⑤ 電気通信
レトロ館



旧大連航路上屋
(車両保管場所)

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

・具体的な運用方法については次の通り

- ・ 運行場所……………福岡県北九州市門司区西海岸(門司港レトロ地区、湾岸道路一帯)
- ・ 運行台数……………1台(eCOM-8)
- ・ 運行時間帯……………10時～17時の運行。(約30分間隔で1日8便程度運行)
- ・ 運行形態……………運送事業許可を要しない運行の形態
- ・ 運転手……………NPO法人の非常勤職員による運行(人材確保済み)
- ・ 利用者の確保方法……………令和2年11月に行われるイベントを活用したプロモーションを実施
- ・ 効果検証項目とその検証方法 など……………実証期間中にアンケート調査を実施
- ・ 車庫の設置場所……………旧大連航路上屋の屋内を使用
(みなとオアシス門司港の代表施設)

■ 旧大連航路上屋/北九州市門司区西海岸1丁目3-5



▲ 旧大連航路上屋車庫



▲ 車庫出入口



▲ 駐車スペース



旧大連航路上屋

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

■ 運行管理 (車両への掲示物)

車両掲示物

車両掲示物イメージ

(前方・後方)車両掲示物



(前方)予約制ガイドツアー実施物



【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】運行管理(搭載するIOT機器)

バスロケーションシステム



【IoT機器の特徴】

- ① グリスロの位置を表示
 - ② 運行時間の遅延を表示
 - ③ 座席の混雑状況を表示
- 青→空きあり
黄→やや混雑
赤→混雑



IOT機器利用イメージ



【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

■新型コロナ対策、その他

車両の両サイドに「みなとオアシス門司港」及び「北九州港開港記念マンス」の普及啓発幕の掲示及び新型コロナ対策

普及啓発活動

電気通信レトロ館 行き

関門海峡ミュージアム行き

行先表示により円滑な運行を行う。



実証調査実施のために運行を行っています

お客様の安全・安心のための取り組みを行っています

 マスクの着用・健康管理	 定期的な清掃・消毒	 密のない開放的な車内
 マスクの着用をお願いします	 会話を控えるようお願いいたします	 体調が悪い時は乗車を控えましょう

感染拡大を防止するためにご協力をお願いします

やむを得ない場合、ブレーキ・急ハンドルの取、急降下を必ずお止め下さい。乗車時には必ず手の消毒をお願いします。

新型コロナ対策による社内掲示及び乗車時の消毒実施

普及啓発幕の掲示



 空きあり	 やや混雑	 混雑
moji-01.png	moji-02.png	moji-03.png

社内の混雑状況を色分けにより配信

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

■効果検証

(ドライブレコーダーの設置)

- ・ドライブレコーダーを車両の先方及び後方に設置することにより、事故等のトラブルが起きた際の正確な状況把握を行う。
- ・また、通常走行中における一般車両の追い越しや車両距離の状況、低速走行による渋滞発生状況を記録し、市街地でのグリーンスローモビリティの運行にかかる安全性等の検証材料とする。

設置イメージ



[3 実証調査の詳細]

[3.2 運用方法]

■ 運行管理

(乗降場所への掲示物)



運行時刻表

関門海峡ミュージアム停留所 「電気通信レトロ館行き」時刻表					マリゲートもじ停留所 「電気通信レトロ館行き」時刻表					関門海峡ミュージアム行き時刻表				
平日	時	時	土・日・祝日	時	平日	時	時	土・日・祝日	時	平日	時	時	土・日・祝日	時
00	45	10	00	45	02	47	10	02	47	03	10	33		
30		11	30		32		11	32		18		11	18	
15		12	15		17		12	17		03	48	12	03	48
		13					13					13		
00	45	14			02	47	14			33		14		
30		15			32		15			18		15		
15		16			17		16			03	48	16		

門司港レトロ観光物産館停留所 「電気通信レトロ館行き」時刻表					プレミアホテル門司港停留所 「電気通信レトロ館行き」時刻表					関門海峡ミュージアム行き時刻表				
平日	時	時	土・日・祝日	時	平日	時	時	土・日・祝日	時	平日	時	時	土・日・祝日	時
11	56	10	11	56	07	52	10	07	52	28		10	28	
41		11	41		37		11	37		13	58	11	13	58
26		12	26		22		12	22		43		12	43	
		13					13					13		
11	56	14			07	52	14			28		14		
41		15			37		15			13	58	15		
26		16			22		16			43		16		

門司港レトロ観光物産館停留所 「関門海峡ミュージアム行き」時刻表					電気通信レトロ館停留所 「関門海峡ミュージアム行き」時刻表				
平日	時	時	土・日・祝日	時	平日	時	時	土・日・祝日	時
24		10	24		05	50	11	05	50
09	54	11	09	54	35		12	35	
39		12	39				13		
		13					14		
24		14			20		14		
09	54	15			05	50	15		
39		16			35		16		

[3 実証調査の詳細]

[3.2 運用方法]

平日の終日と土日祝日の午前は、地域住民の生活利用や旅行者の周遊性向上のための観光利用、来訪者が多いと予想される休日の午後は、グリスロの観光地での新たな可能性を検証するため、異なる形態で運行を予定。また、空席情報やバスの運行状況（位置情報）を確認できるバスロケーションシステムを導入することにより、コロナ禍でも安心して乗車できる仕組みづくりを行う。

平日の終日 土・日・祝日の午前

往復ともに全ての停留所に停車
関門海峡ミュージアムを毎時45分発の間隔で出発。
(バッテリー交換のため、12時50分から14時00分まで運休)

土・日・祝日の午後

完全事前予約制の門司港名物ガイド付きツアーの実施。
【実施日】11月14日(土) 15日(日) 21日(土) 22日(日) 23日(月・祝日)
【実施時間】(1) 14:00~14:30 (2) 14:45~15:15 (3) 15:25~15:55 (4) 16:10~16:40
【申込方法】はがき及び電子申請システム(ネット)
【広報】市政だより(11月1月号)、北九州市HPほか

▼乗車してくれた方へのアンケートの実施



電気で走る低速バス運行!
時刻表やバスの運行状況はこちらから確認出来るよ!

運行期間	
令和2年	11/10 火 - 23 月祝
	Tue. - Mon.

運行時間	
平日	午前 10:00 - 12:50 (1-4便) 12:50 - 休憩(バッテリー交換) 午後 14:00 - 16:50 (5-8便)
土・日・祝日	午前 10:00 - 12:50 (1-4便) 12:50 - 休憩(バッテリー交換) 午後 14:00 - 16:40 完全予約制

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】平日の時刻表

福岡県 北九州市

■時刻表 **グリーンスローモビリティ運行表** ■土日祝日の午後便は完全予約制

停留所 (施設名)	午前の部				午後の部				所要時間(分)
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	
① 関門海峡ミュージアム	10:00	10:45	11:30	12:15	14:00	14:45	15:30	16:15	2
② マリンゲートもじ	10:02	10:47	11:32	12:17	14:02	14:47	15:32	16:17	
③ プレミアホテル門司港	10:07	10:52	11:37	12:22	14:07	14:52	15:37	16:22	5
④ 門司港レトロ 観光物産館	10:11	10:56	11:41	12:26	14:11	14:56	15:41	16:26	4
⑤ 電気通信 レトロ館	10:15	11:00	11:45	12:30	14:15	15:00	15:45	16:30	4
折り返し									
⑤ 電気通信 レトロ館	10:20	11:05	11:50	12:35	14:20	15:05	15:50	16:35	5
④ 門司港レトロ 観光物産館	10:24	11:09	11:54	12:39	14:24	15:09	15:54	16:39	4
③ プレミアホテル門司港	10:28	11:13	11:58	12:43	14:28	15:13	15:58	16:43	4
② マリンゲートもじ	10:33	11:18	12:03	12:48	14:33	15:18	16:03	16:48	5
① 関門海峡ミュージアム	10:35	11:20	12:05	12:50	14:35	15:20	16:05	16:50	2

運行時間
10:00~17:00
1便~4便
10:00~12:50
(休憩)
バッテリー
交換
5便~8便
14:00~16:50
※運行中のバッテリー
切れを防止するため、
午前中に1~4便を運
行し、12:50分に2名で
バッテリー交換を行い
、午後に5~8便を運
行する。

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】土日祝日の時刻表

福岡県 北九州市

■時刻表 **グリーンスローモビリティ運行表(土・日・祝日)** ■完全予約制

停留所 (施設名)	午前の部				午後の部(予約制ガイドツアー)		午前 所要時間 (分)	午後 所要時間 (分)
	1便	2便	3便	4便	5便	6便		
① 関門海峡ミュージアム	10:00	10:45	11:30	12:15	14:00	15:25	2	4
② マリンゲートもじ	10:02	10:47	11:32	12:17	14:04	15:29		
③ プレミアホテル門司港	10:07	10:52	11:37	12:22	14:14	15:39	5	10
④ 門司港レトロ 観光物産館	10:11	10:56	11:41	12:26	14:22	15:47	4	8
⑤ 電気通信 レトロ館	10:15	11:00	11:45	12:30	14:30	15:55	4	8
折り返し								
⑤ 電気通信 レトロ館	10:20	11:05	11:50	12:35	14:45	16:10	5	15
④ 門司港レトロ 観光物産館	10:24	11:09	11:54	12:39	14:53	16:18	4	8
③ プレミアホテル門司港	10:28	11:13	11:58	12:43	15:01	16:26	4	8
② マリンゲートもじ	10:33	11:18	12:03	12:48	15:11	16:36	5	10
① 関門海峡ミュージアム	10:35	11:20	12:05	12:50	15:15	16:40	2	4

運行時間
10:00~17:00
1便~4便
10:00~12:50
(休憩)
バッテリー
交換
5便~6便
14:00~16:40
※運行中のバッテリー
切れを防止するため、
午前中に1~4便を運
行し、12:50分に2名
でバッテリー交換を行
い、ごに5~6便を運
行する。

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

■ 運行管理

資料3 (運港日誌：A)

資料3 北九州市実証調査運行日誌

月 日 () 曜日 天気: 最低気温: 最高気温:

No	運行予定		運行距離		運転者名	乗降客数 (上段:乗車/下段:降車)						合計	特記事項 (車両故障、遅延状況、乗客からの要望、ヒヤリハットなど)
	発車時刻	到着時刻	出発時距離 (上段) 到着時距離 (下段)	走行距離		①南門海城エニ シラム バス停	②マシゲートもじ バス停	③プレミアホテル門 司港 バス停	④門司港しとく 光物産館 バス停	⑤電気通商しとく 館 バス停			
1便 (往路)	10:00			0									
1便 (復路)	10:20			0									
2便 (往路)	10:45			0									
2便 (復路)	11:05			0									
3便 (往路)	11:30			0									
3便 (復路)	11:50			0									
4便 (往路)	12:15			0									
4便 (復路)	12:35			0									
5便 (往路)	14:00			0									
5便 (復路)	14:20			0									
6便 (往路)	14:45			0									
6便 (復路)	15:05			0									
7便 (往路)	15:30			0									
7便 (復路)	15:50			0									
8便 (往路)	16:15			0									
8便 (復路)	16:35			0									

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

■ 運行管理

資料4 (運港日誌：B)

資料4

資料4	気象条件			日合計	利用者数								【参考】 視察	
	天気	最高気温	最低気温		10:00発	10:45発	11:30発	12:15発	14:00発	14:45発	15:30発	16:15発		
2020/11/10	火													
2020/11/11	水													
2020/11/12	木													
2020/11/13	金													
2020/11/14	土													
2020/11/15	日													
2020/11/16	月													
2020/11/17	火													
2020/11/18	水													
2020/11/19	木													
2020/11/20	金													
2020/11/21	土													
2020/11/22	日													
2020/11/23	月													
実証期間合計														

↑それぞれ期間を↑↑記録して↑↑記録して↑↑記録していない場合はサイトで確認ください

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

■ 運行管理

(運港日誌：C 運行前点検項目)

グリーンスローモビリティ「運行前点検表」

① 運転者氏名																				
検温（当日の体温を記入）																				
② 同乗者氏名																				
検温（当日の体温を記入）																				
日付・曜日		令和2年11月																		
		9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日				
点検項目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日				
車の周 り	タイヤの空気圧																			
	タイヤの亀裂・損傷・異常な摩耗																			
	タイヤの溝の深さ																			
	ランプ類の点検又は点滅レンズの汚れ及び損傷																			
	ボディ、バンパーの損傷																			
運 転 席 に 座 っ て	ブレーキ・ペダルの踏みしろ、ブレーキの効き																			
	駐車ブレーキ・レバーの引きしろ																			
	モーターコントローラーの異常																			
	モーターの加速、低速状態																			
	ウインドウウォッシャーの状態																			
	ワイパーの払拭状態																			
	バッテリー残量計の状態																			
	5Vアナログ計の状態																			
	12Vアナログ計の状態																			
	ソーラーパネルアナログ計の状態																			

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

・事業性の検証(収支見込み3ヶ年)※車両購入等イニシャルは行政負担とし、ランニングは民間事業者負担の協働事業とする。

- 目標乗車人数……1日8便8×2(往復)×座席10×乗車率50%×運行日数115日/2021年参考(土、日、祝)
 - 2021年度:8×2×10×0.5×115日=9,200人(乗車率には運転手による1名座席減も考慮)
 - 2022年度:8×2×10×0.6×115日=11,040人()
 - 2023年度:8×2×20×0.6×115日=22,080人()
- 利用料金収入……1日1回片道200円/人
 - 2021年度:9,200人×200円/人=1,840,000円
 - 2022年度:11,040人×200円/人=2,208,000円
 - 2023年度:22,080人×200円/人=4,416,000円
- 運行必要経費……時給950円/h、1日8時間勤務、運転手1名、補助員1名の合計2名勤務
 - 2021年度:950円×8h×115日×2人=1,748,000円
 - 2023年度:950円×8h×115日×3人=2,622,000円

※2021年度を基本に、2022年度は乗車率10%upの60%、2023年度は1台増車した場合の事業シミュレーション。

年度	2021年度 (乗車50%)	2022年度 (乗車60%)	2023年度 (乗車60%、2台運行)
目標乗車人数(人)	9,200人	11,040人	22,080人
収入見込み(利用料金のみ)	1,804,000円	2,208,000円	4,416,000円
事業に必要な経費(人件費のみ)	1,748,000円	1,748,000円	2,622,000円
事業収支	56,000円	460,000円	1,794,000円

【3 実証調査の詳細】
【3.2 運用方法】

北九州市HPでもPR!



■周知・広報計画

- ・ 広報用チラシ・ポスターを作成し、市のHPやみなとオアシス門司構成施設に掲示
- ・ 同時期に周遊を促すイベントを実施（北九州港開港記念マンス（次頁））

無料運行
みなとオアシス 門司港
グリーン スローモビリティ

運行期間
令和2年 11/10 火 - 23 月 祝
平日 午前 10:00 - 12:50 (14:40)
午後 14:00 - 16:50 (6:40)
土・日・祝日 午前 10:00 - 12:50 (14:40)
午後 14:00 - 16:40 完全予約制

広報用チラシ(表)

運行時刻表

1 門司港アートワーク	10:00	10:45	11:30	12:15	14:00	14:45	15:30	16:15
2 マリンセンター	10:02	10:47	11:32	12:17	14:02	14:47	15:32	16:17
3 門司港海神センター	10:07	10:52	11:37	12:22	14:07	14:52	15:37	16:22
4 門司港海神センター	10:11	10:56	11:41	12:26	14:11	14:56	15:41	16:26
5 門司港海神センター	10:15	11:00	11:45	12:30	14:15	15:00	15:45	16:30

広報用チラシ(裏)

北九州港開港記念マンスHP
海賊グルメ コンテスト
▲周遊を促すパスポートの販売

【3 実証調査の詳細】
【3.2 運用方法】

■周遊性（グリスロ利用）向上のためのソフト事業
(11月を開港記念マンスとして様残なイベントを実施・広報)

▼北九州港開港記念マンスHP



それぞれの詳細情報はウェブで確認できます！

PORT OF KITAKYUSHU
北九州港開港記念マンス
anniversary month

11 NOVEMBER
11.10 火 - 11.29 月

北九州港開港記念マンス
イベントMAP



[3 実証調査の詳細]

[3.2 運用方法]

■効果検証 (アンケートの実施：車両に調査員1人が同乗し、アンケート用紙の配布及び回収を行う)

(表面)

(裏面)

資料4 グリーンスローモビリティ利用者アンケート調査

本日は、グリーンスローモビリティをご活用いただきありがとうございます。
以下、アンケートへのご協力をお願いいたします。

問1 あなたご自身のことについて、記載ください。
(1)性別/年齢 ① 男性 ② 女性 / () 歳
(2)お住まい ① 門司港近辺 ② 北九州市内 ③ 北九州市以外

問2 グリーンスローモビリティを利用した理由(複数回答可)
① 目的地に行くのに便利だから ② 低速で安全だから
③ 今までに無い乗り物で興味があるから ④ 家族・友人等に誘われたから
⑤ 快適だから ⑥ その他()

問3 本日の外出目的について、該当する番号に○をつけてください。
① 観光
<観光以外の目的の方は、以下より選択してください>(複数回答可)
② 通勤・通学 ③ 仕事 ④ 食事・買い物 ⑤ 趣味・習いごと
⑥ 病院(通院・見舞等) ⑦ 家族・親類の家 ⑧ 暮らしの用事(銀行等)
⑨ 試しに乗車した ⑩ その他()

問4 下記の施設は、みなとオアシス門司港の施設として登録されています。
今日、訪問された(訪問する予定の)施設に○をつけてください。



① 旧大連鉄路上屋 ② 関門海峡ミュージアム ③ 九州鉄道記念館 ④ 門司港レトロ観光物産館 ⑤ 門司港駅 ⑥ マンゲットもじ ⑦ 旧門司三井倶楽部 ⑧ 旧大連商船 ⑨ 旧門司税関 ⑩ 旧大連支店 ⑪ ブルーウィング門司(観覧車) ⑫ 門司港レトロ観光物産館 ⑬ 大連支店記念館 ⑭ 出光美術館 門司 ⑮ 門司電気通信レトロ館

問5 門司港レトロ地区への来訪について、該当する番号に○をつけてください。
(1)門司港レトロ地区への来訪回数
① 初めて ② 2回目 ③ 3回目以上の方 ⇒ 約()回
(2)2回目以上の方は、グリーンスローモビリティに乗車することによって、初めて訪問した(訪問する予定)の施設はありますか。また、以前の訪問に出べ、本日のレトロ地区での滞在時間に変化はありますか？

今回初めて訪問した(する)施設番号 ※問4の施設表から番号を選んでください()

以前に比べて滞在時間は、① 延びた ② 短縮した ③ 変わらない

(3)以前、門司港レトロ地区に来られた際の、地区内での移動手段はなんですか？
① 徒歩 ② 自転車 ③ タクシー ④ 自転車 ⑤ その他()

問6 グリーンスローモビリティの満足度はどうですか？
① 満足 ② どちらかといえば満足 ③ どちらでもない
④ どちらかといえば不満 ⑤ 不満
選択した理由()

問7 グリーンスローモビリティは門司港レトロ地区に必要な乗り物だと思いますか。
① 必要 ② 実証実験の運行内容を見れば必要
(見直す箇所:)
③ 将来的には必要 ④ 必要ない ⑤ その他()
選択した理由()

問8 グリーンスローモビリティの実証実験はどこで知りましたか。(複数回答可)
① HP ② テレビ ③ 市政だより ④ 新聞・テレビ・ラジオ
⑤ 知人からの情報提供 ⑥ 現地で ⑦ その他()

問9 来年度以降の本格運行についてご意見を聞かせください。
(1)有料でも利用しますか
① 利用する ② 利用しない ③ わからない
(2)有料でも利用する場合、いくらであれば利用しますか。()円

問10 グリーンスローモビリティの窓がないこととどう感じますか。その理由をお聞かせください。
① 窓がないのが良い ② 窓があった方がよい ③ どちらでも構わない
選択した理由()

問11 グリーンスローモビリティの走行速度(時速 20 キロ以下)をどう感じますか。
① ちょうどよい ② 遅い ③ 早い
選択した理由()

問12 グリーンスローモビリティについて、ご意見・ご要望をお聞かせください。
[]

ご協力ありがとうございました

[3 実証調査の詳細]

[3.3 実施体制]

・実施体制

団体名	役割
北九州市	実証調査責任者、関係各所との調整
みなとオアシス門司港運営協議会	実証事業に対する協力、広報支援

・地方公共団体内での役割分担

所属名・担当者名	役割
港湾空港局クルーズ・交流課 []	実証調査責任者
クルーズ・交流課 交流・イベント係 []	関係各者との調整、事業運営・管理担当
建設都市局都市交通政策課 []	警察・運輸局・交通事業者との調整
建設局道路維持課 []	道路管理者として協議
産業経済局門司港レトロ課 []	エリア内観光施設との調整、地域団体との調整
門司区役所総務企画課 []	地域住民に関する情報提供、広報支援

(記載方法)

- 調査全体の実施体制及び地方公共団体内での役割分担についてそれぞれ記載すること(必要に応じて行を追加・削除すること)

【3 実証調査の詳細】

【3.4 関係機関との調整状況】

(記載方法)

- 実証調査に当たり調整が必要となる関係機関・団体等について記載すること(必要に応じて行を追加すること)。
- 該当機関がない場合、今回は関係しない場合は、その旨を所定の欄に記載すること。

福岡県 北九州市

		団体名	実証調査の調整状況	事業化に対する協力意向	備考
公共交通機関等	電車	JR九州	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	交通連携
	バス	西鉄バス	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	交通連携
	タクシー	九州観光タクシー・八雲タクシー 勝山タクシー	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	運転手人材の輩出
行政	道路管理者	北九州市	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業主体 事業連携
	地方運輸局・支局	九州運輸支局 福岡運輸支局	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力・ 指導
	警察	門司警察署	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力・ 指導
その他	商工会	北九州商工会議所	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力
	観光協会	北九州観光 コンベンション協会	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力
	商業施設等	海峡プラザ	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力・ 参加
	地域住民	門司レトロ倶楽部	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力・ 参加
	その他	人力車	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力
	その他	NPO法人I-DO (レンタサイクル事業者)	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	事業協力・ 参加

27

【3 実証調査の詳細】

【3.5 事業化に向けた検討】

福岡県 北九州市

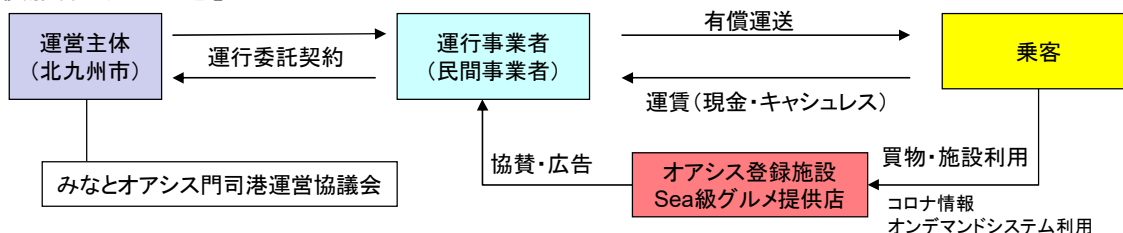
・構想の実現に向けた中長期のロードマップ

実施内容	令和元年度	令和2年度				令和3年度	令和4年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
グリーンスローモビリティ導入に向け関係期間との調整		[]					
運行ルートを選定、運行携帯やIoTデバイスの決定		[]					
実証事業の実施及びアンケート等調査の開始		[]					
事業報告会及び報告書作成		[]					
実証効果の検証、車両購入の予算措置		[]				[]	
みなとオアシス門司港グリーンスローツーリズム開始		[]					[]
グリーンスローモビリティを1台増車し2台体制で実施		[]					令和5年度

・事業化後の事業スキーム

※その他ボランティアガイドの活用による車内での観光案内や、地元NPO法人等と連携した賑わいイベント実施時での運行等によりグリーンスローモビリティの利用促進を図り、みなとオアシス門司港全体の観光資源としての付加価値を高めることにより、事業化を目指す。

【自家用有償旅客運送の形態】



28

【3 実証調査の詳細】

【3.6 その他(※記載は任意)】

✓ 北九州港開港130周年記念式典(R1年11月16日)

北九州港の門司港は、令和元年11月15日で開港130周年を迎え、北九州港開港130周年記念式典を開催しました。会場となった旧大連航路上屋では、記念式典に先立ち、国土交通省主催の「みなとオアシス門司港」登録証交付式が開催され、北橋健治北九州市長が、高田昌行国土交通省港湾局長からみなとオアシス登録証の交付を受けました。続いて開催された記念式典では、地元港湾関係者や関係官庁、海外姉妹港(米国・タコマ港、タイ・レムチャバン港)などを含む関係者約180人が参列。主催者を代表して、北九州港開港130周年記念事業実行委員会 野畑昭彦副会長(みなとオアシス門司港運営協議会会長)と北橋市長が挨拶したほか、高田局長や小川洋福岡県知事が祝辞を述べました。記念式典に続いて、一般財団法人みなと総合研究財団の山縣宣彦理事長による特別講演会があり、「みなとまち北九州、30年後の夢」と題した講演を行いました。

✓ 北九州港開港130周年記念イベント(R1年11月16日・17日)

開港130周年を祝う記念事業のメインイベントとして、開港記念日の11月15日(金)に続く16日(土)、17日(日)に、門司港で様々な記念イベントを行いました。当日は4万5千人の来場があり、各種船舶の公開や、市民参加型のアートイベント、音楽ライブイベント、竹灯籠などによる光と音の演出などで開港記念を盛大に祝いました。港が果たす役割や、海辺のすばらしさ、大切さ、楽しさを感じるきっかけになりました。

<北九州港開港130周年記念動画>

北九州港の歴史から、現在の取り組み、開港記念事業までを紹介したPR動画です。北九州市に関する様々な情報を動画でお伝えする「北九州市動画チャンネル」に掲載しています。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kou-ku/m304_00003.html



みなとオアシス門司港運営協議会 野畑会長



国土交通省港湾局 高田局長



周年事業の効果を一過性に終わらせることなく、今後も維持発展させていくために、毎年、開港記念日に合わせ「みなとまち」をテーマにしたイベントを実施予定(令和2年度11月21日・22日)。イベントでは、Sea級グルメコンテストやマルシェ等を開催予定である。また、同時期に東アジア文化都市事業の一環として「門司港アートワフ(海辺にアート作品が展示)」の実施や、イルミネーションの点灯も始まり、多くの来街者が見込めるため、実証実験もこの時期の開催を希望する。

令和2年度 グリーンスローモビリティの活用検討に向けた 実証調査支援事業

実施計画書

実証地域	西海市 江島
提案者	西海市
事業名称	超高齢化離島「江島」初の公共交通実現に向けたグリーンスローモビリティ実証調査事業

1

【1 実証調査の背景・目的】

✓ 地域の概況、特に地域交通の状況について

○地域の概況

	西海市	江島
人口	27,068	107
世帯	12,612	79
高齢化率	38.5%	59.8%
面積	241.59km ²	2.59km ²

- ・小中学校:1校
- ・商店:2店
- ・診療所:1箇所(医科 月～金、歯科 月2)
- ・行政機関:崎戸総合支所 江島出張所



※人口、世帯、高齢化率:住民基本台帳(R2.10.31現在)

※面積:平成27年全国都道府県市区町村別面積調(平成27年10月1日現在)

○地域の特性

西海市(崎戸町)と新上五島町の間の五島灘に浮かぶ離島。平家落人の伝説がある。江戸時代には捕鯨でにぎわった。現在の主な産業は漁業。観光スポットとして「基石ヶ浜」「遠見岳」などがある。「友住(新上五島)～平島～江島～崎戸～佐世保」を結ぶフェリーが1日1往復運航している。

冬ダイヤ	友住	平島	江島	崎戸	佐世保
往路	7:16発	7:41	8:30	9:30	10:45着
復路	17:00着	16:40	15:50	14:50	13:30発



○地域の交通状況について

- ・ 島内には公共交通機関がなく、主な移動手段は、徒歩、シニアカー(若い人は原付自転車)、個人所有の自家用車(もしくは知人の自家用車での送迎)。また、信号がなく、交通量も少ない。
- ・ 船着場から最も離れている集落(西地区)まで1.3kmあり、高齢者にとって荷物を持って歩くには負担が大きい。

2

【1 実証調査の背景・目的】

✓ 地域課題と解決に向けた方向性について

○地域課題

①超高齢社会による課題	②離島性による課題	③公共交通機関がない故の課題	④地域の特性による課題
<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩での移動や、自家用車等の運転が困難となる人の割合が増加。 ・島での生活が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活物資の購入や通院のために船に乗って島外に行く人が多い。 ・ガソリン代が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・島外で買い物をして帰ってくる時は荷物が多く、自宅までの移動・運搬に苦勞している。 ・島内の観光スポットに行くためには1.8km~2.1kmあり、観光しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・島内道路の道幅が狭くカーブも多い。 ・とりわけ、住居が集中し、船着場もある島南部は、勾配がある細い道(普通車が1台通れる程度)が多い。

※移動の目的：佐世保行きフェリーの乗船（買い物、病院）、出張所、診療所、商店、ゲートボール

○解決の方向性

- ・地域の主要地点(船着場、出張所、診療所、商店、公園)を結んだ公共交通機関を導入し島民の移動手段を確保
- ・江島の魅力発信のため観光スポットまでの移動手段確保(定期便以外の時間帯に利用できる予約制のデマンド交通)

○グリーンスローモビリティの優位性

- Green(環境) 「家庭用電源での充電・走行が可能」
- Slow(低速) 「交通量が少ない島内状況にマッチした低速での安全走行」
- Safety(安全) 「通常の自動車に比べ運転しやすい(運転手になるハードルが低く人材不足の解消に繋がる)」
- Small(小型) 「車幅が短く、狭い道幅でも通行可能」
- Open(開放感) 「側面のドアがなく、低床なため利用者は乗降がしやすい」



○実証地域における上位関連計画におけるグリーンスローモビリティの位置づけについて

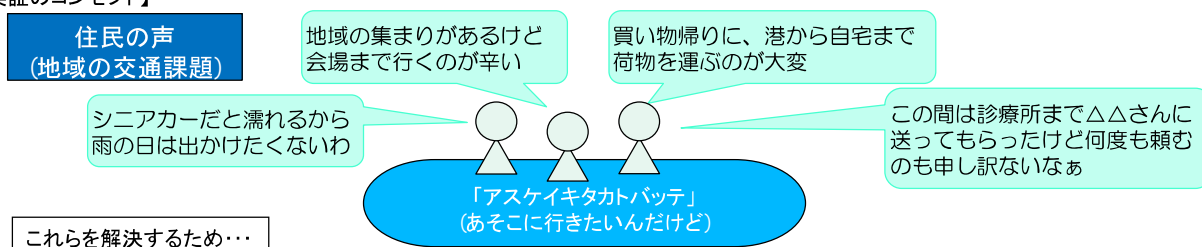
第2次西海市総合計画「3-6-1-2基本施策陸上交通の充実(新たな公共交通システムの導入検討)」にて「交通事業者や市民団体、NPO法人などの各種団体と連携した新たな公共交通システム導入」を推進しており、江島でのグリーンスローモビリティ導入は、その一環として取り組んでいる。

【2 実証調査の概要】

「アスケイキタカトバツテ」島民が安心して暮らせる島づくりに向けたモビリティ実証調査事業【高齢化率約59.8%&公共交通がない島に導入する地域運営型公共交通】

✓ 実証の全体像

【実証のコンセプト】

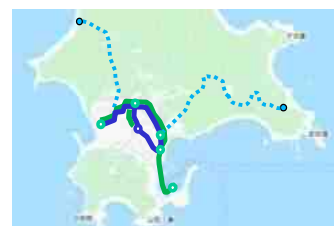
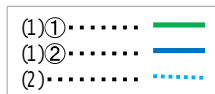


- ・フェリーみしまとの接続の利便性を向上させるため、ルート、運行ダイヤの実証を行う。
- ・フェリーみしまの出発、到着時刻以外の時間帯の利用形態(定期便とデマンド)、ルート、運行ダイヤの実証を行う。
- ・実際に走行するモビリティの姿を島民に見せ、公共交通を導入した際のイメージを持ってもらう。

今まで江島には公共交通機関が導入されたことがないため、様々な形態の運行を行い、最も地域に適した公共交通の形を模索する

【実施を希望する実証の概要】 ※フリー乗降。4人乗りゴルフカートで運送を行う。

- ①定期便
 - ①船の発着に合わせた定時・定路線運行
 - ②島を回る循環線
- ②予約制 島民、観光客用のデマンド運行(随時運行)



【目指す将来像】

高齢化社会における交通手段の確保をテーマに、高齢化が進み、課題先進地である離島においてグリーンスローモビリティによる公共交通の仕組みを確立させ、近い将来に同じ課題に直面する本土側の公共交通の仕組みづくりのモデルとしたい。

公共交通の担い手として、今後各地区で設置される地域運営組織を想定しており、市民、事業者、行政一体となって地域に適した持続可能な公共交通の構築を目指す。

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

2. 運行ダイヤ

フェリーみしま接続 朝(友住～平島～江島～崎戸～佐世保)

運行日程	江島小・中学校 ・郵便局	西ノ浦港	西地区	市役所 出張所	診療所	浜地区	江島港 (船着場)	フェリー 発着時刻
行き	-	7:50 →	7:52 →	7:54 →	7:56 →	7:58 →	8:00 →	8:24着 8:30発
帰り	8:50 ←	8:45 ←	8:43 ←	8:41 ←	8:39 ←	8:37 ←	8:35 ←	

フェリーみしま接続 夕方(佐世保～崎戸～江島～平島～友住)

運行日程	江島小・中学校 ・郵便局	西ノ浦港	西地区	市役所 出張所	診療所	浜地区	江島港 (船着場)	フェリー 発着時刻
行き	-	-	-	15:14 →	15:16 →	15:18 →	15:20 →	15:45着 15:50発
帰り	16:10 ←	16:05 ←	16:03 ←	16:01 ←	15:59 ←	15:57 ←	15:55 ←	

循環

運行日程	西ノ浦港	西地区	市役所 出張所	診療所	浜地区	江島小・中学校 ・郵便局	市役所 出張所	西ノ浦港
1便	8:55	8:57	8:59	9:01	9:03	9:05	9:07	9:10
2便	11:00	11:02	11:04	11:06	11:08	11:10	11:12	11:15
3便	13:55	13:57	13:59	14:01	14:03	14:05	14:07	14:10

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

2. 運行ダイヤ

予約制デマンド運行

1. 利用対象者

江島に来島した観光客、江島地区島民

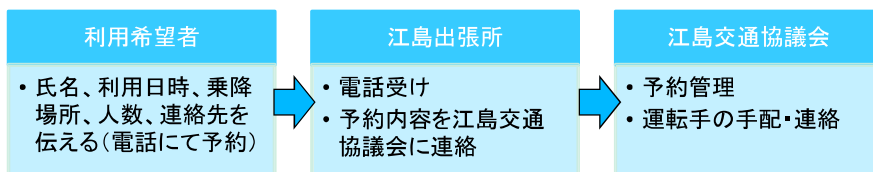
2. 利用時間

- 平日 9:20～10:50、13:00～13:45
- 土日祝 9:00～12:00、13:00～15:00

3. 利用方法

- 窓口 江島出張所(0959-37-0251)
- 受付時間 9:00～17:00(平日のみ)
- 利用の流れ

利用日	利用時刻	利用者名	人数	乗車	降車	連絡先	受付日	受付者
□ 月 ○ 日 (×)	00:00～ 00:00	△△ △△	□人	自宅 (○○番地)	××	00- 0000	○/△	●●
	～						/	
	～						/	
	～						/	
	～						/	



※予約は利用の前日まで(土日祝月は金曜までに予約)

4. 島内事業者との連携

江島島内の宿泊事業者(簡易宿泊マルタ、江島さとや)と連携し、宿泊者の利用を推進する。

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

2. 運行ダイヤ

○…フェリーみしま接続、循環線、デマンド(9:20~10:50、13:00~13:45)

△…フェリーみしま接続、デマンド(9:00~12:00、13:00~15:00)

日	月	火	水	木	金	土
13	14	15	16	17	18	19
	(車両搬入)	(運転者講習)	○	○	○	△
20	21	22	23	24	25	26
△	○	○	○	○	○	△
27	28	29	30	31	1	2
△	○	△	△	△	元日 【運休】	△
3	4	5	6	7	8	9
△	○	○	○	○	○	△
10	11	12	13	14	15	16
△	○	○	(車両搬出)			

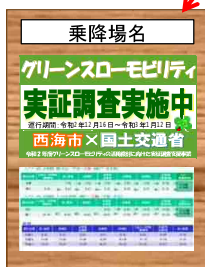
※「フェリーみしま」欠航時は運休する

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

3. 運行にあたって

乗降場 掲示イメージ



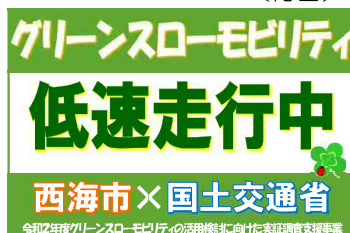
《掲示内容》
 ・乗降場名
 ・グリーンローモビリティ
 車両掲示物
 ・時刻表(定時定路線)

車両掲示物

(前面)



(背面)



日誌・乗務前点検表

日誌(平日)

乗務員 No.		出庫時刻	乗務開始時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	乗務終了時刻	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22

乗務前点検表

項目	チェック	備考・対応等
1	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	
5	<input type="checkbox"/>	
6	<input type="checkbox"/>	
7	<input type="checkbox"/>	
8	<input type="checkbox"/>	
9	<input type="checkbox"/>	
10	<input type="checkbox"/>	

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

6. 効果検証方法

(1) 利用者数の把握

運転手による日誌の集計(便別、乗降場別集計)

(2) アンケート調査

①対象 乗車された方

②調査方法 聞き取り調査

③調査項目

- ・属性
- ・実証内容に対する評価
- ・事業化に向けた需要の把握
(利用意向・料金設定)
- ・グリーンスローモビリティの効果と期待

(3) ヒアリング調査

①対象 運行団体、周辺施設・住民等

②調査項目

- ・車の通行への影響
- ・施設の利用状況の変化
- ・島民から受けた要望
- ・今後の検討事項、改善点・提案

利用者アンケート(案)

1	属性:性別、年齢、住まい、運転免許・自家用車の有無
2	グリーンスローモビリティの利用回数、利用した理由
3	利用目的:買い物、病院、手続、帰宅、スポーツ等、寄り合い
4	グリーンスローモビリティの満足度
5	江島地区におけるグリーンスローモビリティの必要性
6	実証運行について何で知ったか(HP、チラシ、テレビ等)
7	将来運行されたら乗車しますか? (有料で運行した場合の適切運賃と利用頻度)
8	料金を1回150円に設定した場合、妥当だと思うか
9	その他意見

13

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

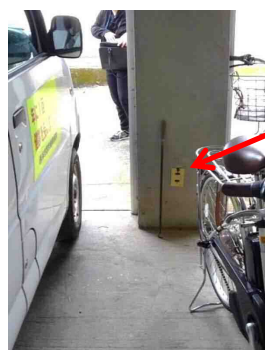
7. 必要インフラの確認

項目	内容
車両	ゴルフカート4人乗り 1台【全長3.15m 全幅1.34m 全高1.75m】
保管場所	江島出張所
充電設備	100V 2口

江島出張所車庫



100V 2口



14

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

7. 必要インフラの確認

ゴルフカート 4人乗り Club Car社製 リモ



15

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

8. 搬入搬出、保管、移送

項目	日時	場所	内容【担当者】
搬入【借受】	12月14日(月) 14:50発	崎戸港～江島港	<ul style="list-style-type: none"> ・トランス・パシフィック・リンクス・ジャパン(株)がトラックで搬入【立会:西海市島の暮らし支援室】 ・15:45江島港着 ・保管場所へ移動
運転者講習会	12月15日(火) 10:00～16:00	江島港、江島出張所周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・講習(カートの説明) ・運転者の試運転
実証運行	12月16日(水) ～ 1月12日(火)	江島島内	<ul style="list-style-type: none"> ・保管・充電(西海市役所江島出張所) →12月14日(月)～1月12日(火) ・12月16日(水)に出発式を開催
搬出【返却】	1月13日(水) 8:30発	江島港～崎戸港	<ul style="list-style-type: none"> ・江島港でトランス・パシフィック・リンクス・ジャパン(株)が積込 ・9:30崎戸港着 ・搬出・返却確認【立会:西海市島の暮らし支援室】

16

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

9. 運転者講習会

日時	令和2年12月15日(火) 10:00~16:00 ※午前の部・午後の部の2回開催
場所	江島港、江島出張所周辺
講習内容	(1)講習、(2)運転手の試運転
受講者	江島交通協議会12名、江島出張所3名、島の暮らし支援室2名
準備	受講者は運転免許証、筆記用具持参

10. 出発式

日時	令和2年12月16日(水) 15:35~
場所	江島港(フェリーみしま発着棧橋)
内容	(1)市長あいさつ (2)事業概要の説明 (3)出発セレモニー
参加者	・江島交通協議会、江島地区島民 ・西海市長 ・西海市役所 島の暮らし支援室 ・復建調査設計㈱
備考	本実証事業について新聞社にプレスリリース予定。取材として同行してもらうことを検討中。

17

【3 実証調査の詳細】

【3.3 実施体制】

実施体制

団体名	役割
西海市	実証調査責任者、関係各所との調整
江島地区区長会	運転手人材の輩出、周知・広報
江島地区審議会	効果検証、事業化に向けた改善提案
江島交通協議会	実証事業運転業務の受託

地方公共団体内での役割分担

所属名・担当者名	役割
島の暮らし支援室	実証調査責任者、警察・運輸局・関係各所との調整
情報交通課	公共交通政策の担当として情報共有
建設課	道路管理者として協議
崎戸総合支所	江島地区の統括機関として情報共有
崎戸総合支所江島出張所	江島地区住民からの意見聴取、連絡調整、予約制デマンド運行の受付

18

【3 実証調査の詳細】

【3.3 実施体制】

運行主体(江島交通協議会)について

(設立の目的)

江島地区において島内の移動手段の導入を研究し、交通弱者をはじめとする島民及びその他の方の暮らしの向上に寄与する運営を行うこと。

(事業内容)

- ・島内の移動手段の研究に関する事業
- ・公共交通の運営に関する事業
- ・会員の研鑽と意識向上に資する事業
- ・その他本会の目的達成に必要な事業

(設立年月日)

令和2年11月20日

(団体構成員)

役職	業務内容	備考
会長	会の代表	江島地区審議会会長
副会長	2名 会長の補佐、代行	江島地区審議会副会長
事務局長	事務の総括・管理	江島地区審議会副会長兼事務局長
事務局員	運転手の勤怠管理、経理事務、日誌・アンケート取りまとめ	江島地区審議会理事 他 補助運転手
整備管理者	シフト調整、車両管理	運転手兼任
運転手	運転業務	運転手4名、補助運転手3名

※運営支援:西海市役所 島の暮らし支援室(事務、運営の相談や支援を行う)

19

【3 実証調査の詳細】

【3.4 関係機関との調整状況】

		団体名	実証調査の調整状況	事業化に対する協力意向	備考
公共交通機関等	電車		該当機関なし ①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	バス		該当機関なし ①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	タクシー		該当機関なし ①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
行政	道路管理者	西海市	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	地方運輸局・支局	長崎運輸支局	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	警察	新上五島警察署	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
その他	商工会		①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	観光協会		①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	商業施設等		①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	福祉施設等		①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	
	地域住民	江島地区区長会	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	運転手人材の輩出
	その他	江島地区審議会 江島交通協議会	①同意済 ②相談中 ③今後実施	①あり ②実証結果で判断 ③なし ④未確認	運転手人材の輩出

20

【3 実証調査の詳細】

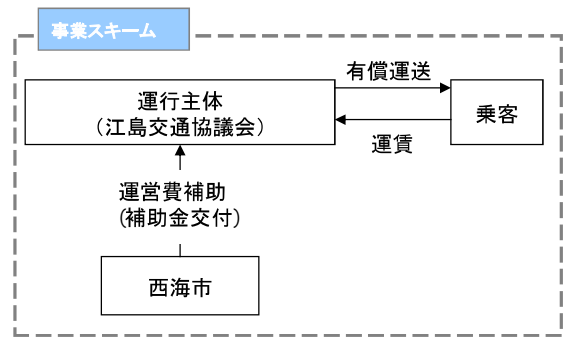
【3.5 事業化に向けた検討】

✓ 構想の実現に向けた中長期のロードマップ

実施内容	令和元年度	令和2年度				令和3年度	令和4年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
企画構想	■						
関係機関との会議		■					
グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業へ応募、実証事業の実施			■				
実証調査結果まとめ、計画の再度検討				■			
長期の実験、運行主体団体の結成、運転手の運行資格取得、西海市交通事業運営協議会での審議、運輸支局への登録					■		
事業化						■	

✓ 事業化後の事業スキーム

事業概要	
運行日	毎日
運行ルート	江島港～西ノ浦港
運行主体	江島交通協議会
運行形態	・定時路線型運行 ・デマンド運行(定時運行以外の時間:前日までの予約制)
料金	有償(自家用有償旅客運送)
事業継続性	地域団体による運営を行い、運営費については、他の離島同様行政が支援する。



21

【3 実証調査の詳細】

【3.6 その他(※記載は任意)】

✓ その他

スマートアイランド

「未来の島ぐらし」江島

課題先進地である離島に先進技術(ICT、ドローン等)を導入し、組み合わせることで、暮らしやすい課題解決先進地を目指す。

洋上風力

江島地区では民間企業が洋上風力発電の商用化を進めており再生可能エネルギーの象徴となる「元気な島ぐらし」

ドローン配送

フェリーみしまで運んできた荷物や郵便物を各戸に届ける「らくらく島ぐらし」



クリーン電力蓄電団地

洋上風力で発電した電気を蓄え、島へ供給することで、停電のない「安心の島ぐらし」

除草ロボット

高齢化・人口減少によって大変になった集落道路の除草作業をロボットに行ってもらい「きれいな島ぐらし」

いつのまにか健診

浴室や仏壇など、普段触れるものにセンサーを設置し、異常を早期察知して「いきいき島ぐらし」

グリーンスローモビリティ

公共交通機関のない江島にグリーンスローモビリティを導入し、地域交通の充実・地域活性化で「にこにこ島ぐらし」

自動運転

島内の担い手不足に対応するため、自動運転の実現に向けて検討を行う

22